

決算説明資料



MEDIUS

2023年6月期
メディアスホールディングス株式会社

【証券コード：3154】

《第一部》

1. 本日本お伝えしたいこと
2. 市場環境とメディアスの戦略
3. メディアスホールディングスの概況
4. 中期経営計画とビジョン

《第二部》

1. 2023年6月期 連結決算

《第一部》

1. 本日本日お伝えしたいこと
2. 市場環境とメディアスの戦略
3. メディアスホールディングスの概況
4. 中期経営計画とビジョン

《第二部》

1. 2023年6月期 連結決算

- 2023年6月期は、上期は新型コロナウイルスが収束するとの予想に反し、感染対策製品や検査試薬などの需要が継続し、助成金対象の備品の売上も好調でした。下期には、新型コロナウイルス感染症者数の減少に伴う症例数の回復や新規症例の獲得が想定よりも進展しました。
そのため、売上高は前期比、期初計画比ともに上回る着地となり、2月と6月に上方修正を行っております。
- 世界情勢に起因する資源価格の高騰、円安の影響により、売上原価は増加を見込みますが、SPDの新規獲得、営業強化による収益改善などにより、2024年6月期もグループ一丸となって達成に取り組んでまいります。
- メディアスホールディングスグループはこれからも、医療機器の販売等を通じて地域医療に貢献してまいります。医療を止めないために、我々自身がサステナブルな会社であり続けるよう、邁進してまいります。

(百万円、%)

項目	22/6期 (実績)	23/6期 (実績)		前期比	
	金額	金額	百分比	増減額	比
売上高	226,606	239,054	100.0	12,448	105.5
医療機器販売事業	221,296	233,567	97.7	12,270	105.5
介護・福祉事業	5,309	5,486	2.3	177	103.3
営業利益	2,267	1,880	0.8	-386	82.9
経常利益	2,757	2,423	1.0	-333	87.9
当期純利益	1,867	1,498	0.6	-369	80.2
1株あたり当期純利益 (円)	85.30	68.32	-	-	-

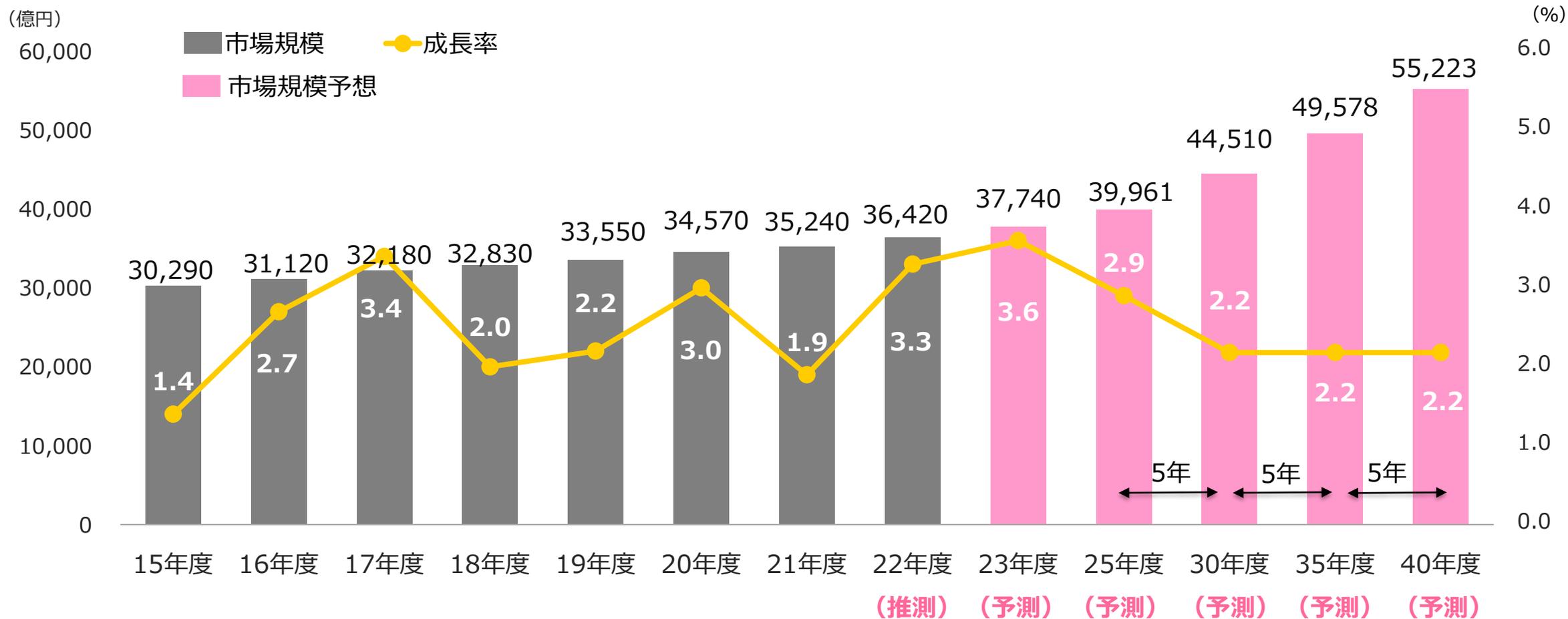
※表示単位以下は切り捨てています。

《第一部》

1. 本日はお伝えしたいこと
2. 市場環境とメディアスの戦略
3. メディアスホールディングスの概況
4. 中期経営計画とビジョン

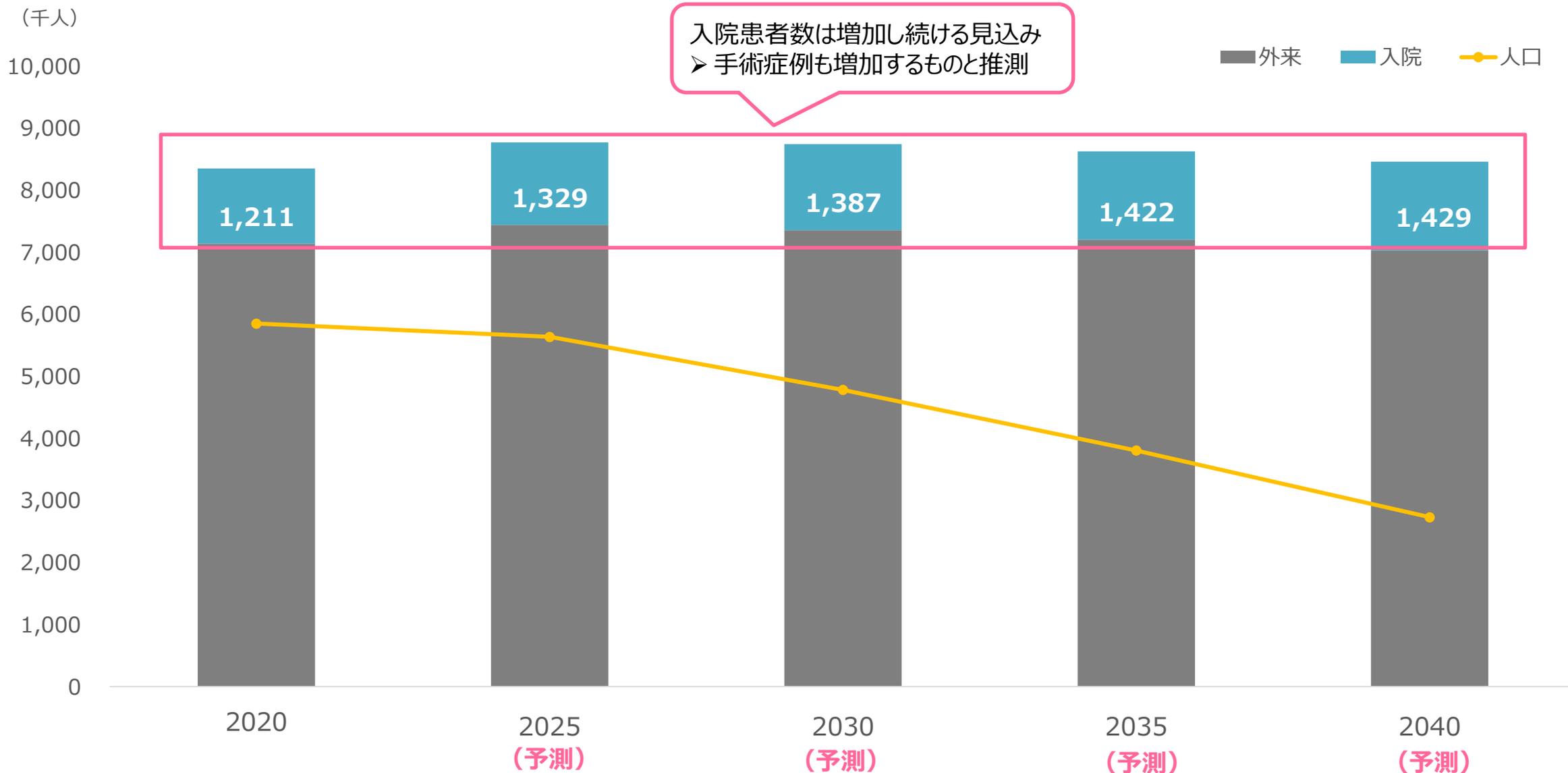
《第二部》

1. 2023年6月期 連結決算

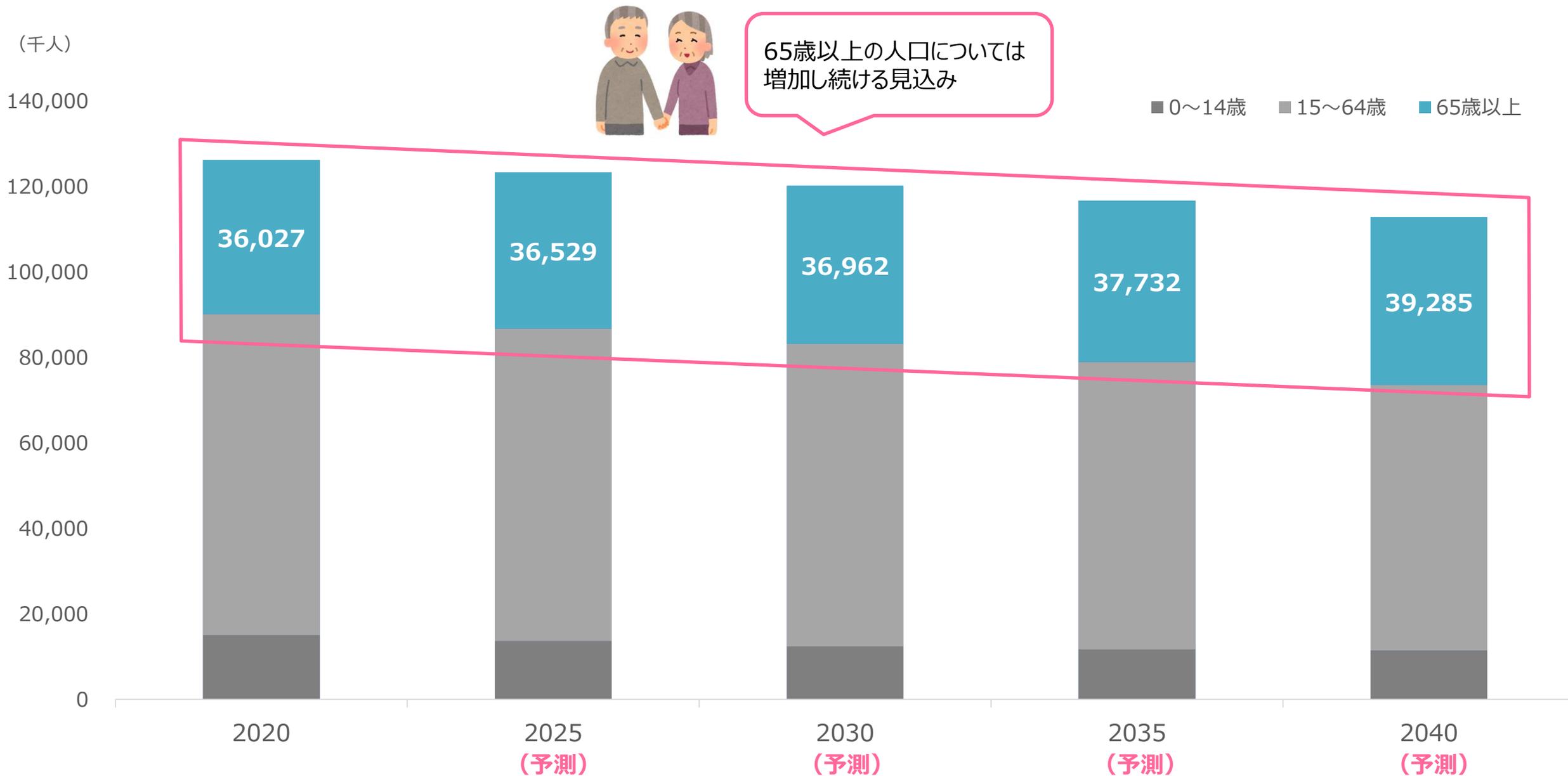


※出所：2023年（予測）までは(株)オールアンドデイ「医療機器・用品年鑑2023年版 市場分析編」

2025年以降は公益財団法人医療機器センター附属 MDSI医療機器産業研究所「2025年及び2040年の医療機器市場の推計値から今後の産業を考える」の市場成長率予測より算定。

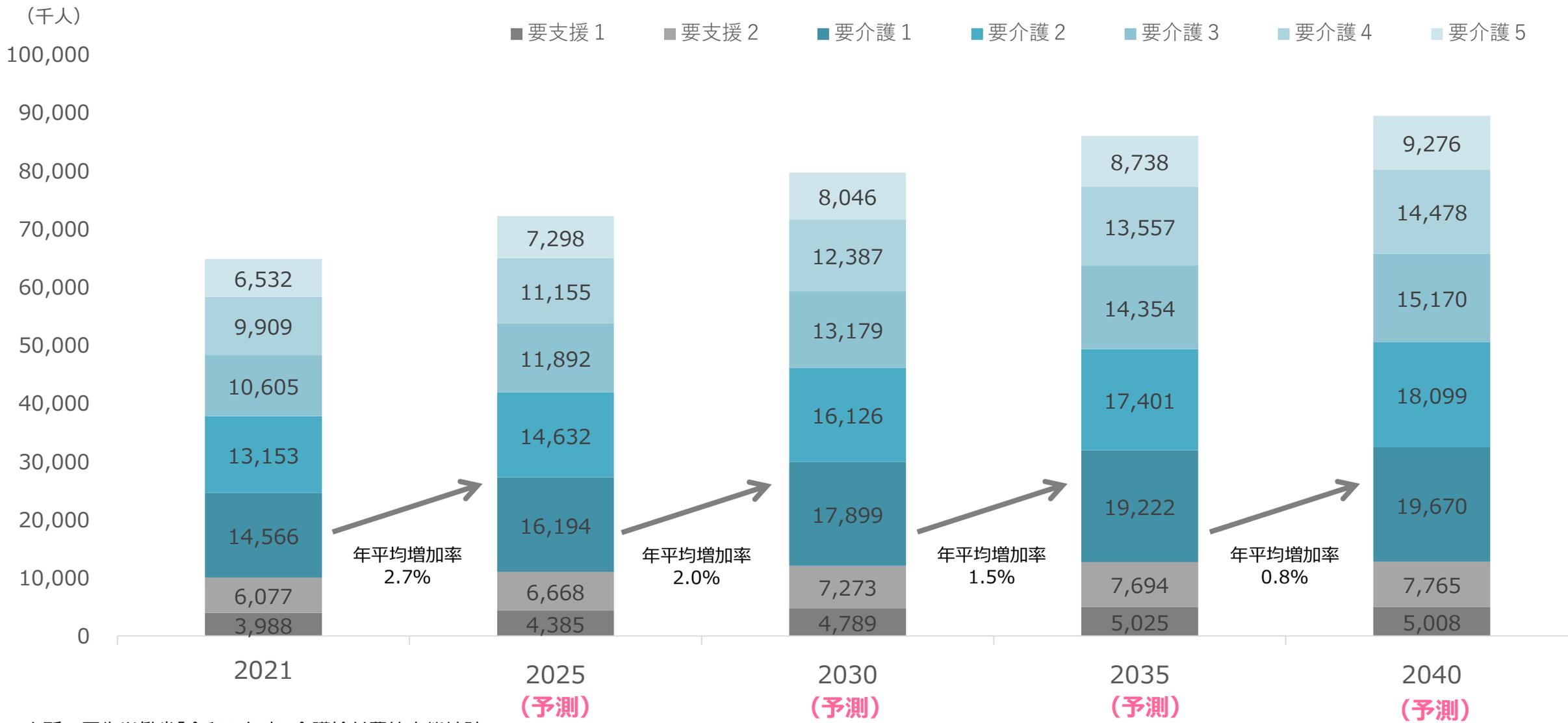


※出所：厚生労働省「令和2年（2020）患者調査の概況」
 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」
 患者数の予測値は、2020年度の受療率（人口10万対・年齢階級別）、年齢別将来推計人口より算出



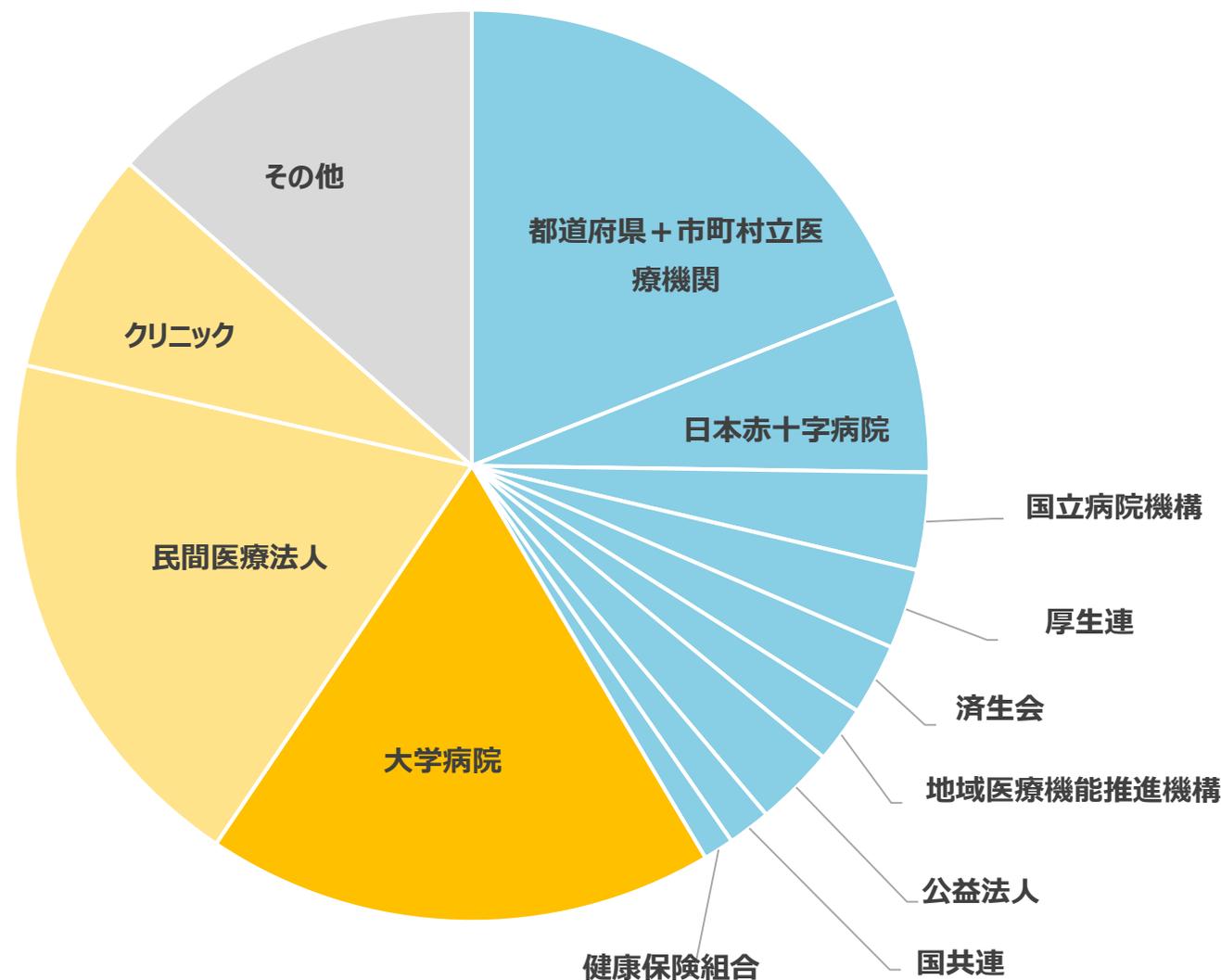
※出所：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和5年推計）」

市場環境 《要支援・要介護者数推移予測》 ※年間累計受給者数 《》



※出所：厚生労働省「令和3年度 介護給付費等実態統計」
 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」
 要支援・要介護者数の予測値は、2021年度の介護給付費等の受給者数（性・年齢階級・要介護（要支援）状態区分別）、2021年人口推計、
 年齢別将来推計人口（2025～2040年）より算出
 ※年間累計受給者数は、各年度とも5月から翌年4月の各審査月の介護予防サービスまたは介護サービス受給者の合計

公的医療機関	都道府県 + 市町村立医療機関	19.0%	41.4%
	日本赤十字病院	6.3%	
	国立病院機構	3.5%	
	厚生連	2.8%	
	済生会	2.5%	
	地域医療機能推進機構	2.0%	
	公益法人	2.8%	
	国共連	1.5%	
	健康保険組合	1.1%	
大学病院	大学病院	18.0%	18.0%
民間医療機関	民間医療法人	19.1%	27.1%
	クリニック	8.0%	
その他	その他	13.5%	13.5%



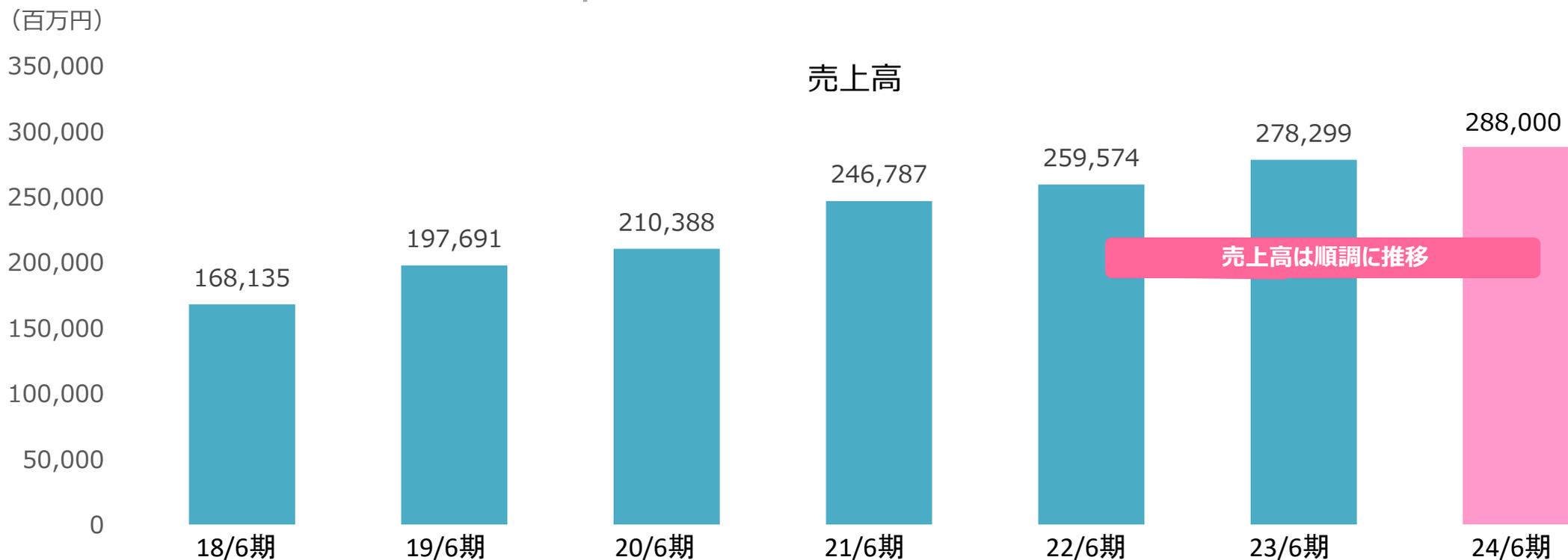
《第一部》

1. 本日本お伝えしたいこと
2. 市場環境とメディアスの戦略
3. メディアスホールディングスの概況
4. 中期経営計画とビジョン

《第二部》

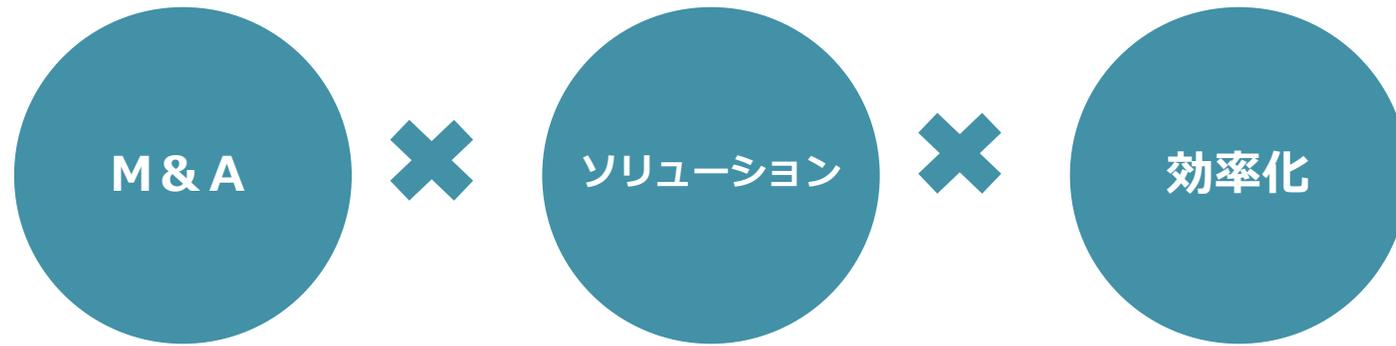
1. 2023年6月期 連結決算

	コロナ以前	コロナ禍	ウィズ/ポストコロナ
テーマ	事業規模拡大	安定供給／医療を止めない	事業拡大のための投資
課題	スピードアップ	調達／症例減少	コロナ特需の反動減
対応	M&Aの推進	コロナ関連販売強化／SPD獲得	M&Aの更なる加速



※グラフの数値については、過年度の実績との比較可能性から「収益認識に関する会計基準」適用前の数値で表示しています。

日進月歩の医療技術
ますます先端化する医療機器
時代の変化に伴い、日々多様化するニーズ

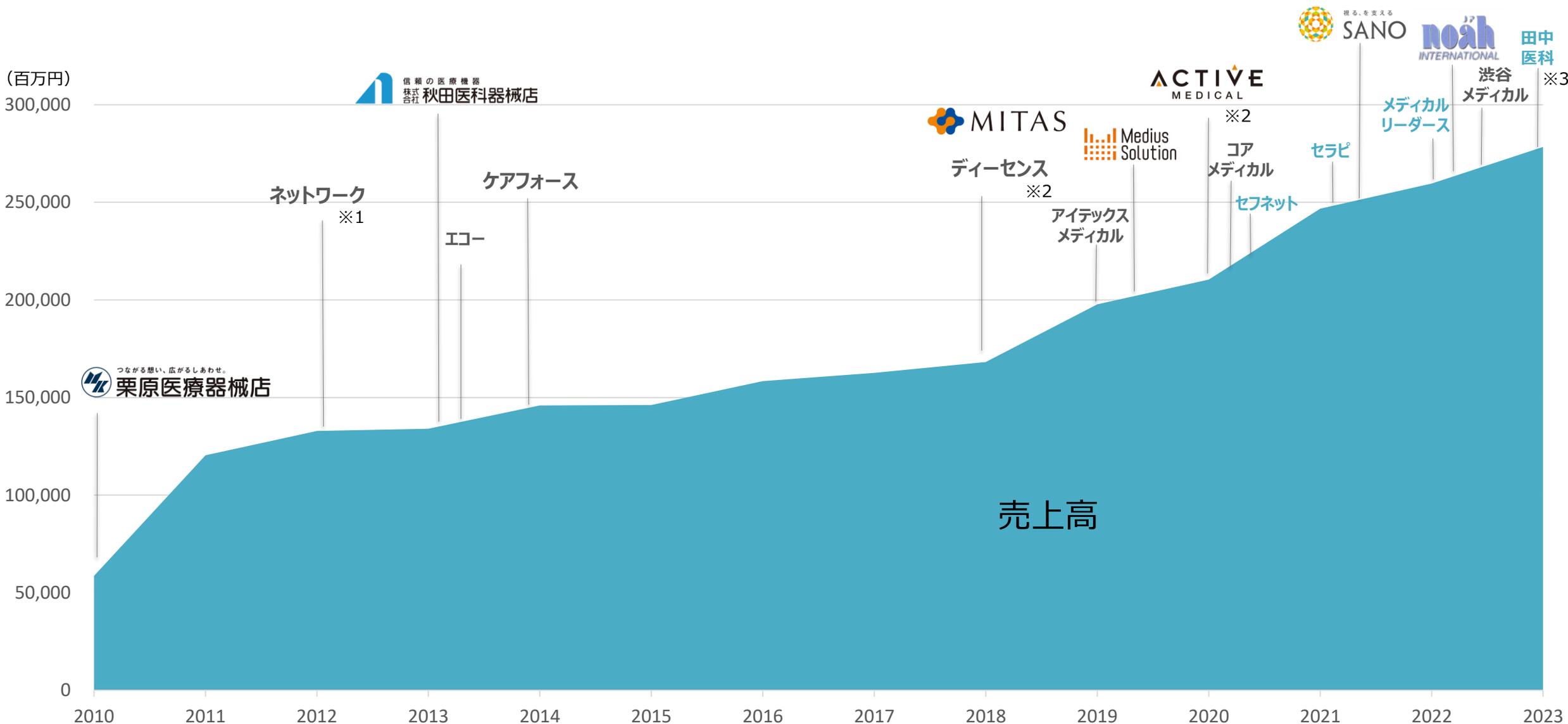


メディアスグループの保有する

「M & A力」「ソリューション力」「効率化」

新たな価値を創造し、医療現場の課題解決に寄与
医療現場の発展や医療従事者の方々の負担軽減に貢献

メディアスホールディングス これまでのM&A（連結対象）



※社名ロゴにて記載は、連結会社として存在。社名テキストにて記載は、吸収合併、事業承継、事業譲受、営業権譲受した企業。うち青字は一部事業譲受。

※1 イーバスメディカルに社名変更

※2 2021年10月、循環器系の4社（オズ、イーバスメディカル、ディーセンス、アクティブメディカル）を統合し、株式会社アルバースとして事業開始。

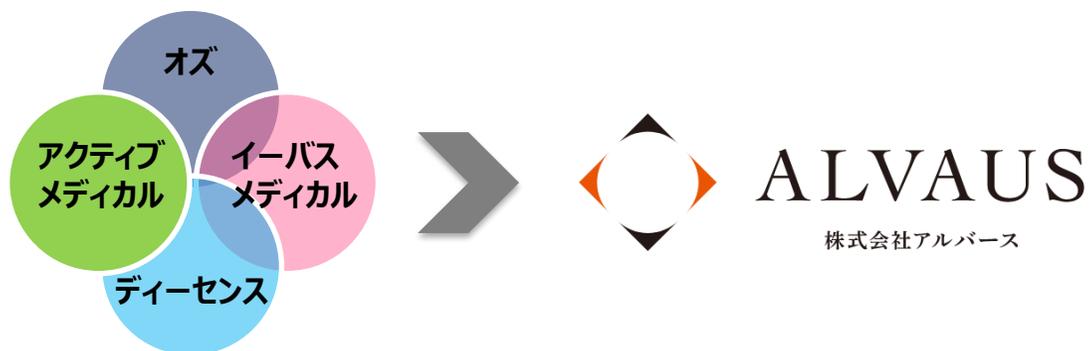
※3 2023年7月、栗原医療器械店の整形外科部門を分社化し、株式会社オーソエッジジャパンとして事業開始。株式会社田中医科器械製作所より千葉県における医療機器販売事業を事業譲受。

効率的な事業運営体制を構築し、事業基盤を強化するため、グループ事業会社間にて専門領域に係る部門の再編を進めています。各社の経営資源を集中し、ノウハウ等を相互補完しシナジー効果を創出することで、営業力を更に強化し市場シェアの拡大を図ります。

循環器領域

4社を統合し、アルバースを設立

2021年10月、循環器領域に特化した医療機器ディーラー4社（グループ内 オズ、イーバスメディカル、ディーセンス、アクティブメディカル）を統合し、株式会社アルバースとして事業を開始。首都圏、東海、北関東、北陸エリアをカバーする。



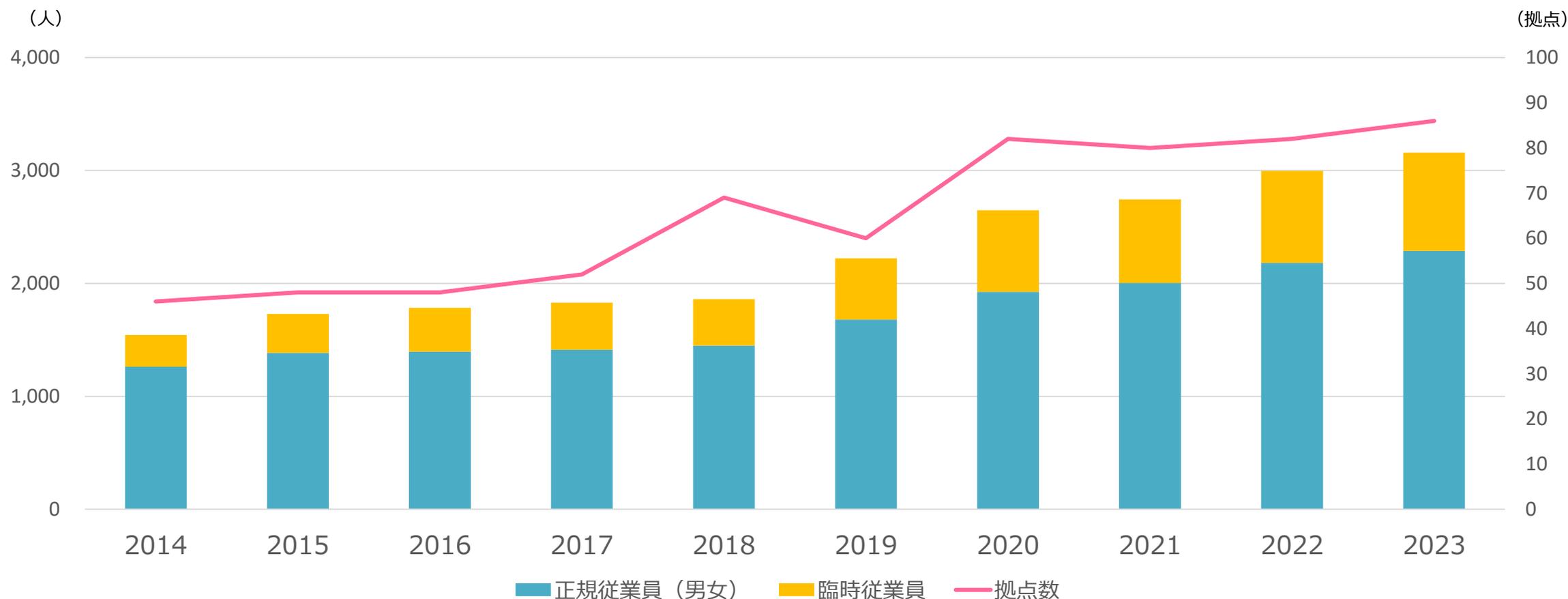
整形外科領域

栗原医療器械店の整形外科部門を分社化

2023年7月、栗原医療器械店の整形外科部門を分社化し、株式会社オーソエッジジャパンとして事業開始。田中医科器械製作所より、千葉県における医療機器販売事業を事業譲受。



	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
拠点数	46	48	48	52	69	60	82	80	82	86
正規従業員数	1,262	1,385	1,397	1,413	1,449	1,680	1,926	2,003	2,182	2,288
非正規従業員数	282	345	387	417	412	542	722	741	815	871



各種ソリューションツールで 良質な医療環境の提供

SPD

[物流管理システム]



物流管理 分析 経営改善
収支改善

- 医療材料の管理の効率化をして、看護時間を確保したい。
- 医療材料の発注ミスを防ぎたい。

STORE

[簡易物流管理システム]



物流管理 分析

- 手間を掛けずに医療材料の管理をしたい。
- 簡易的な物流管理システムを入れたい。

meccul

[材料価格の最適化支援システム]



分析 経営改善
収支改善

- 最適な医療材料を選びたい。
- 医療材料の購買内容や変化を客観的に分析し、コスト削減をしたい。

ASOURCE

[DATABASE]

SURGELANE

[手術室運営支援プログラム]



手術室 運営改善
収支改善 分析 医事課

- 手術の稼働内容や収支情報の情報を把握したい。
- 効率的な手術室経営をしたい。

MORISS

[手術情報共有システム]



手術室 情報共有 医事課

- 手外科手術に関わる医療材料の管理の効率化をして、看護時間を確保したい。
- 手術スタッフで情報共有をしたい。

ASOURCE

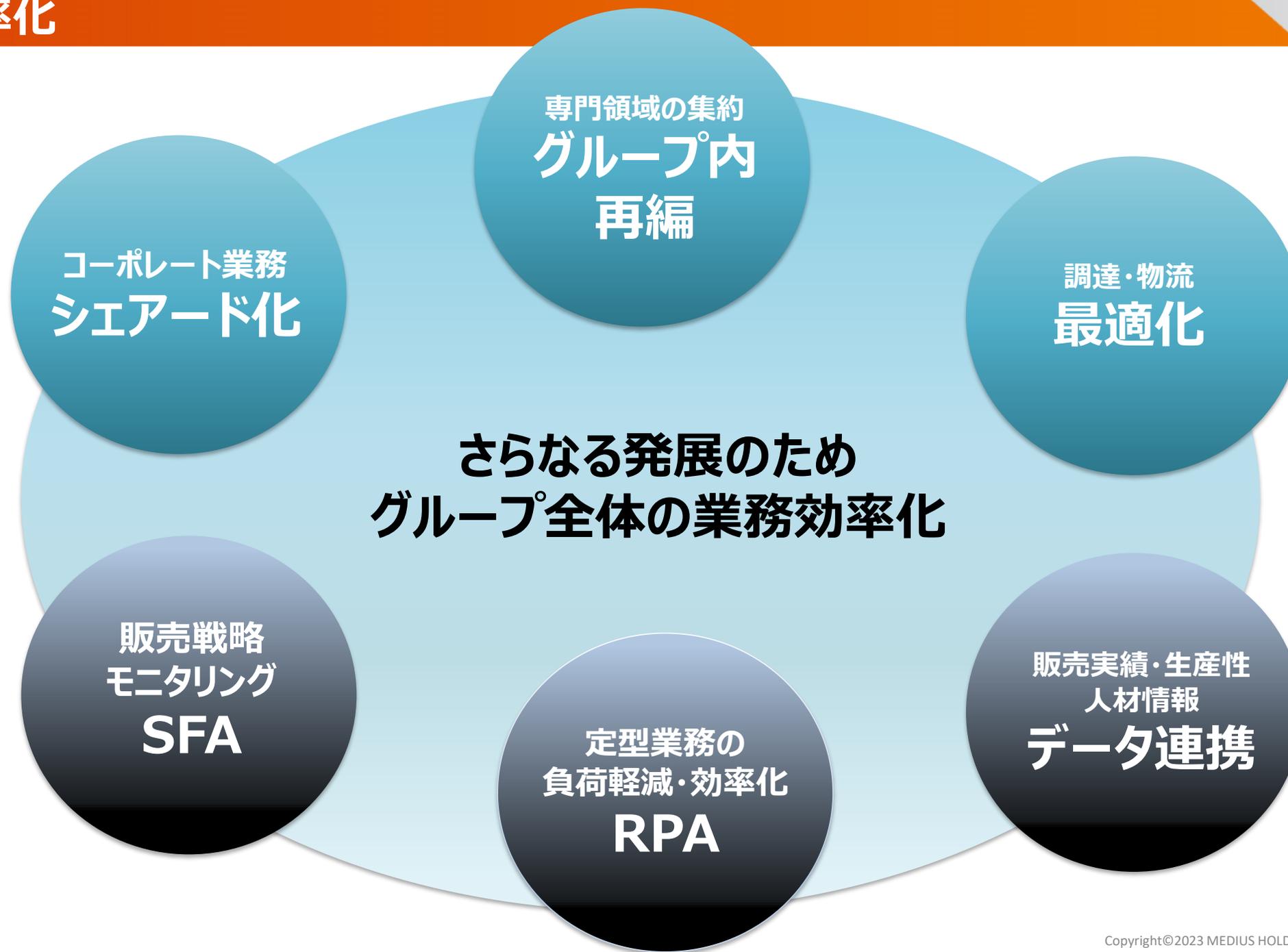
[DATABASE]

[医療材料データベース]



データ
ベース

- 網羅性・信頼性の高い商品マスタを参照したい。
- 商品情報の収集を効率的に行いたい。



個人向けECサイト

ECショップ『For You』

- ✓ 栗原医療器械店にて医療機器Online Shopを開設しました。一般消費者をはじめとする多くの皆さまに、良質な医療・介護・福祉用具をお届けすることを目指しております。



既存資産を活用した新たな事業展開

Third Party Logistics (3PL) 事業 倉庫業務管理

- ✓ 栗原医療器械店は、太田ディストリビューションセンターを活用した、Third Party Logistics (3PL) 事業 倉庫業務管理をはじめました。
- ✓ 医療機器メーカー、医療機関の課題解決に積極的に取り組みます。



受託部分



現場発想・省コスト・安心品質

プライベートブランド「ASOURCE® SELECT」

医療用手袋やサージカルマスクなどの医療材料を中心とした商品展開。商品開発にあたっては、当社の品質基準をクリアした国内外の工場やメーカーと協同しユーザーの声を反映させたコストパフォーマンスの高い商品を追求め、多くの医療機関に採用いただいています。

- ✓ メディアスHD創立当初より商品開発に取り組み、2019年に「ASOURCE® SELECT」として刷新。大量消費を要する医療用汎用品を中心とし、現在では25品目を展開。
- ✓ 安定供給を使命とし、コロナ感染拡大に伴う医療材料不足の渦中でも、独自の製造ルート確立により一定の供給量を確保。



《タイにてゴムの木の植樹を実施》

ASOURCE® SELECT製品の原材料のゴムの木は役目を終えて伐採されると、ウッドチップとして製造工場の熱源に利用されます。そして生産工程における100%再生可能エネルギーとしてCO₂の削減に貢献します。このような取組みは今後も継続的に行う予定です。



社員による植樹





《第一部》

1. 本日はお伝えしたいこと
2. 市場環境とメディアスの戦略
3. メディアスホールディングスの概況
4. 中期経営計画とビジョン

《第二部》

1. 2023年6月期 連結決算

基盤を固める新たなスタート

中期経営計画〈2023年6月期～2025年6月期〉定量目標

項目	目標値
売上高	年成長率5%以上※
経常利益	20億円以上
ROE	8%以上

※M&Aを除く。

医療機器販売業界の圧倒的No. 1 企業となる

売上高

4,000億円を目指して

メディアスグループ

- ・M&A力
- ・ソリューション力
- ・効率化

1,820億円
2020/6期

2,133億円
2021/6期

2,390億円
2023/6期

2,600億円
2025/6期

4,000億円
2030/6期

M & A
戦略

250
億円
100
億円

M & A
戦略

600億円

※「収益認識に関する会計基準」の適用による影響を加味した数値です。
 ※2020年6月期は、「収益認識に関する会計基準」による影響を推定した数値です。
 ※M&A戦略のうち、グレー部分（250億円）は、2020年より達成済み。

持続可能な社会の実現と持続的な企業価値の向上

サステナビリティ委員会設置

《目的と概要》

- ✓ サステナビリティへの対応を重要な経営課題の一つと認識し、体制の構築や環境・社会・ガバナンスへの取組みを一層強化することを目的とし、「サステナビリティ委員会」を設置しました。
- ✓ グループ全体で、サステナビリティに関する包括的な取組みを加速します。



従業員の健康増進

健康経営の認定取得

《目的と概要》

- ✓ 栗原医療器械店と協和医科器械は経産省と日本健康会議による「健康経営優良法人2023(大規模法人部門)」の認定取得、メディアスHDは健康保険組合による「健康優良企業(STEP1銀)」の認定を取得しました。
- ✓ メディアスグループは引き続き、社員個々が生き生きと働くことができる職場環境の整備に努めてまいります。



医療機関と行う社会貢献

国連WFP「レッドカップキャンペーン」参画

賛同する企業が対象商品にレッドカップマークを付けて販売し、売上の一部を寄付するキャンペーン。飢餓に苦しむ途上国の学校給食支援に役立てられ、世界に5,900万人いると言われている学校に通えない子どもたちの栄養状態を改善し、就学の機会をつくり、勉学の意欲を高めて未来につなぐ取組み。

✓メディアスグループでは、プライベートブランド「ASOURCE® SELECT」の売上の一部を寄付。

✓2023年1月より開始し、6か月間（1-6月）で、合計1,044,557円を寄付しました。

ひとりでも多くの子どもたちに学校給食を



医療の現場から、子どもたちに栄養と希望を



メディアスグループは「国連WFP レッドカップキャンペーン」を通じ世界の子どもたちの成長と未来を応援します。

～世界の子どもたちを飢餓から救うために～
本製品の売上の一部は国連WFPが行う「学校給食支援」に役立てられます。この活動は世界の子どもたちの栄養状態の改善と教育の機会拡大を応援します。

ひとりでも多くの子どもたちに学校給食を



途上国の子どもたちが毎日学校で給食をとれるようになれば、栄養状態が改善されるだけでなく教育機会も増え、やがては国全体の貧困問題の改善にもつながります。

社員、株主様とつむぐ社会貢献

「国境なき医師団」へのマッチングギフト

国境なき医師団は、民間で非営利の医療・人道援助団体です。世界中の紛争地や自然災害の被災地、貧困地域などで危機に瀕した人びとに、独立・中立・公平な立場で緊急医療援助を届けています。

《従業員》

✓従業員から任意で寄付を募り、会社が同額を上乗せし総額を寄付するマッチングギフトを行っています。

四半期ごとに集計して寄付を行い、今後も継続的に寄付を行います。

✓2023年1月より開始し、6か月間（1-6月）で合計572,800円の寄付を実施しました。

《株主優待》 ※2023年6月末基準日より開始

✓当社の株を一単位（100株）以上保有している株主様を対象とした優待品として、同団体への寄付の選択肢を設けています。寄付の意思を表明された株主様への優待相当額に、当社が同額を上乗せして寄付します。



南スーダンの病院入口での関(写真左)と同僚の海外派遣スタッフ



感謝状

メディアスホールディングス株式会社

このたびは、国境なき医師団の活動をご支援いただき、誠にありがとうございます。頂いたご寄付は、助けを必要としている人びとに直接医療を届けるために大切に使用させていただきます。皆さまの思いも世界各地で活動するスタッフが代わりとなってしっかりと届けてまいります。

南スーダンでの活動に参加した外科医 関聡志(南スーダン 2022年7月～9月派遣)の活動への思いをお伝えさせていただきます。

「もともとは知らなかった国や人びとであっても、行けば当然スタッフも含めて顔見知りになります。彼らは圧倒的に資源や医療が足りない環境で暮らし、医療活動を行っています。それを知ってしまった以上、『もう行かないよ』という選択肢は自分にはありません。自分の中では活動地で起きていることというのは、地球の裏側の全く関係のない所で起きていることではなくて、自分の居た場所で起きていることだからです。自分にできることがあるなら、そこが日本だろうと他の国だろうとあまり差はないのかなと思います。こうして世界中に医療を届けられるのは、日本の皆さまのご支援のおかげです。いつもありがとうございます。」

国境なき医師団の世界各地での医療援助活動は、皆さま一人一人のご寄付によって支えられています。これからも国境なき医師団をご支援くださいますようお願い申し上げます。

特定非営利活動法人
国境なき医師団日本
事務局長
村田 慎二郎

村田 慎二郎

スポーツを通じた地域福祉貢献

エスパルス福祉基金

メディアスグループ × 清水エスパルス

- ✓ メディアスホールディングスと協和医科器械、アルバースの3社は、清水エスパルスの活躍を地域福祉に貢献つなげる、「エスパルス福祉基金」をサポートしています。
- ✓ 清水エスパルスのホームゲームでのゴール数や観客の入場者数などに応じて基金を積み立て、シーズン終了後に地域の福祉団体や医療機関などに寄付しております。
2021年は静岡市の施設に福祉車両の贈呈をしました。



地域とともに行う社会貢献

地域連携型のプロジェクト活動

エコキャップ運動 栗原医療器械店 × ザスパクサツ群馬

- ✓ ザスパクサツ群馬と協力し、ザスパクサツ群馬ホームゲーム会場でペットボトルキャップを回収し・再資源化する取組み（名称：「ザスパエコキャップ運動」）を実施しております。
リサイクル売却益は、途上国ワクチン供給のために寄付します。



おおた健康促進553プロジェクト

栗原医療器械店 × 太田市（行政） × 群馬クレインサンダーズ

- ✓ サステナブル及びCSRの観点から太田市、群馬クレインサンダーズとパートナーシップを構築し、【おおた健康促進553プロジェクト】を立ち上げました。第一回目はゴミ拾い活動&ウォークラリーを実施し、地域の方々、社員、合わせて約130名が参加しました。



現在と未来の医療をつなぐ

2023年10月 メディメッセージ2023開催

協和医科器械・アルバース × メディメッセージ実行委員会（静岡県医師会他）

- ✓ 地域医療の担い手づくりのため、子どもたちに医療の仕事を楽しみながら体験していただくイベントです。
- ✓ 協和医科器械とアルバースが2007年より参画し、これまで11回開催しました。
- ✓ 手術室を再現して実演する企画のほか、本物の医療機器を使った体験や現役医師のトークライブなどを実施しております。
- ✓ 新型コロナウイルスの感染拡大により、一時期は開催を見送りましたが、医師不足という課題を抱える静岡県において、子どもたちが医療と向き合う機会を創出したいという想いにより、2022年より3年ぶりに会場開催を再開しました。

予告



みんなの力を、医療の力に。

開催日：2023年10月28日（土）、29日（日）

会場：アクトシティ浜松

医療現場で働く人たちに感謝を伝える

「いつもいつも、ありがとう！」笑顔トラック

協和医科器械 × 地域の園児、児童の皆様

- ✓ 医療従事者の皆様に向け、感謝と応援の思いを伝える「笑顔トラック」による配送を実施しています。
- ✓ 地域の園児や児童の皆様が描いた似顔絵を「ありがとう」のメッセージとともに、「笑顔トラック」にプリントしています。
- ✓ 明るい子どもたちの笑顔と「ありがとう」の気持ちを、医療材料の配送を通して日々届けます。



《第一部》

1. 本日本お伝えしたいこと
2. 市場環境とメディアスの戦略
3. メディアスホールディングスの概況
4. 中期経営計画とビジョン

《第二部》

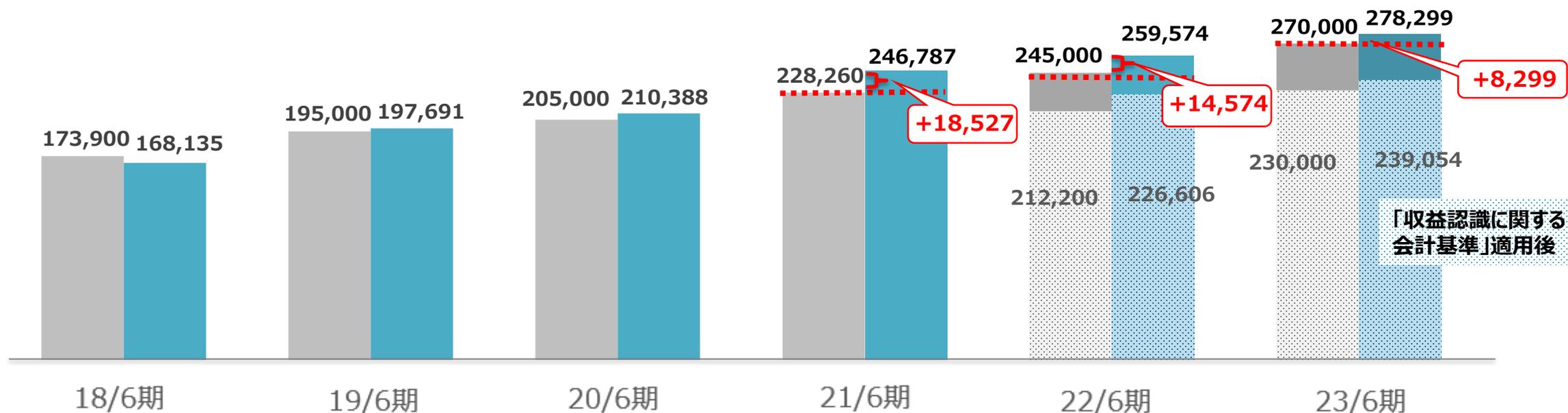
1. 2023年6月期 連結決算

実績 売上

PCR検査試薬やPPE等の感染対策関連消耗品の売上鈍化を想定していたが、上半期において想定以上の販売があり、症例数回復、新規症例獲得により手術関連製品の販売が増加。補助金給付等の政策も一部継続、設備投資が活性化したことで期初計画を上回る。

売上高 **2,390億円** (期初計画比 **3.9%増**) ※「収益認識に関する会計基準」適用後の数値
 売上総利益 **293億円** (期初計画比 **4.1%増**)
 営業利益 **18.8億円** (期初計画比 **168.7%増**)

■ 期初計画 ■ 実績 (単位：百万円)



「収益認識に関する会計基準」適用後

※グラフの数値について：2022年6月期より、「収益認識に関する会計基準」を適用しております。過年度の実績との比較可能性から、2022年以降も適用前の数値を併記しております。

実績 売上②

売上高は前期比で増加しているが、販売費及び一般管理費の増加に伴い営業利益は減少

売上高 **2,390億円** (前期比 **5.5%増**)
営業利益 **18.8億円** (前期比 **17.1%減**)

《消耗品》

- 手術症例数回復に伴う手術関連製品の販売増加
- 新規顧客の獲得や前期獲得したSPD施設への販売による増収
- 感染対策製品についてはPPEを中心に需要が継続
 - ただし、検査試薬については、前年同期間に東京オリンピック・パラリンピックが開催されていたことに伴う需要拡大があったこともあり販売縮小

※PPE売上高（社内管理実績）
22/6期:9,543百万円 23/6期:9,817百万円

PCR検査関連売上高（社内管理実績）
22/6期:4,145百万円 23/6期:1,448百万円

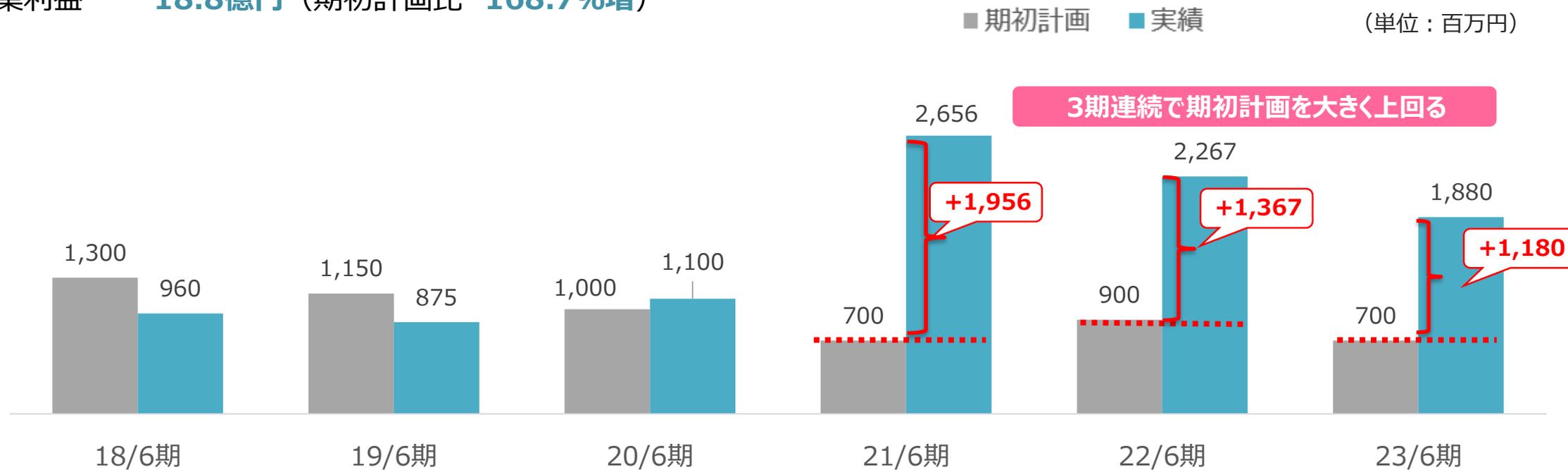
《備品》

- 新型コロナウイルス感染対策に係る案件は収束傾向であったが継続
- 医療機関における設備投資が活発化

実績 利益

営業拠点移転等の執行時期の変更、実施案件の費用抑制に努めたことで販売費及び一般管理費は計画内で推移、及び売上総利益の増加に伴い、営業利益が期初計画を上回る結果となった。

売上高 **2,390億円** (期初計画比 **3.9%増**) ※「収益認識に関する会計基準」適用後の数値
 売上総利益 **293億円** (期初計画比 **4.1%増**)
 営業利益 **18.8億円** (期初計画比 **168.7%増**)



前期（2022年6月期）期首より「収益認識に関する会計基準」を適用

✓ 基準適用による影響

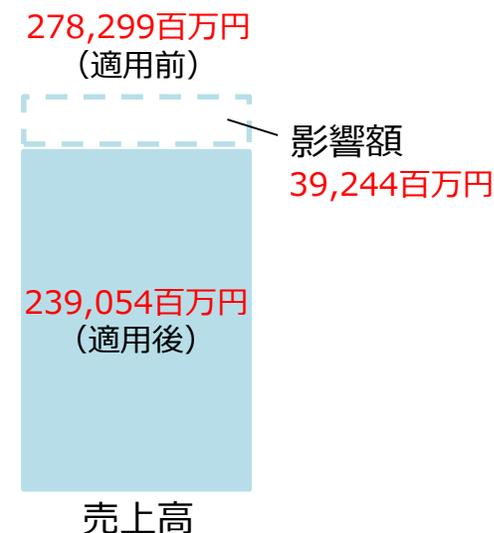
当社グループの役割が代理人に該当する取引について、顧客から受け取る額から仕入先に支払う額を控除した純額で収益を認識することにより売上高が減少。

（当2023年6月期において、本基準適用により適用前より売上高が**39,244百万円**減少）

なお、売上総利益、営業利益、経常利益及び当期純利益への、当該会計基準の適用による影響はなし。

✓ 代理人取引

他販売業者によって商品が顧客に提供されるように、当社グループが手配する等販売活動において主たる責任を負わない取引
SPD受託施設における請求代行取引等が該当



《訂正の経緯及び理由》

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）における代理人取引の集計の一部に誤りがあり、売上高及び売上原価を過少に計上していたことが判明したため、訂正させていただきました。

既に、過年度に係る決算短信等を訂正するとともに、過年度に提出した有価証券報告書等の訂正報告書を関東財務局へ提出いたしました。

なお、この訂正により売上高が増加いたしますが、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益に変更はございません。

《訂正箇所》

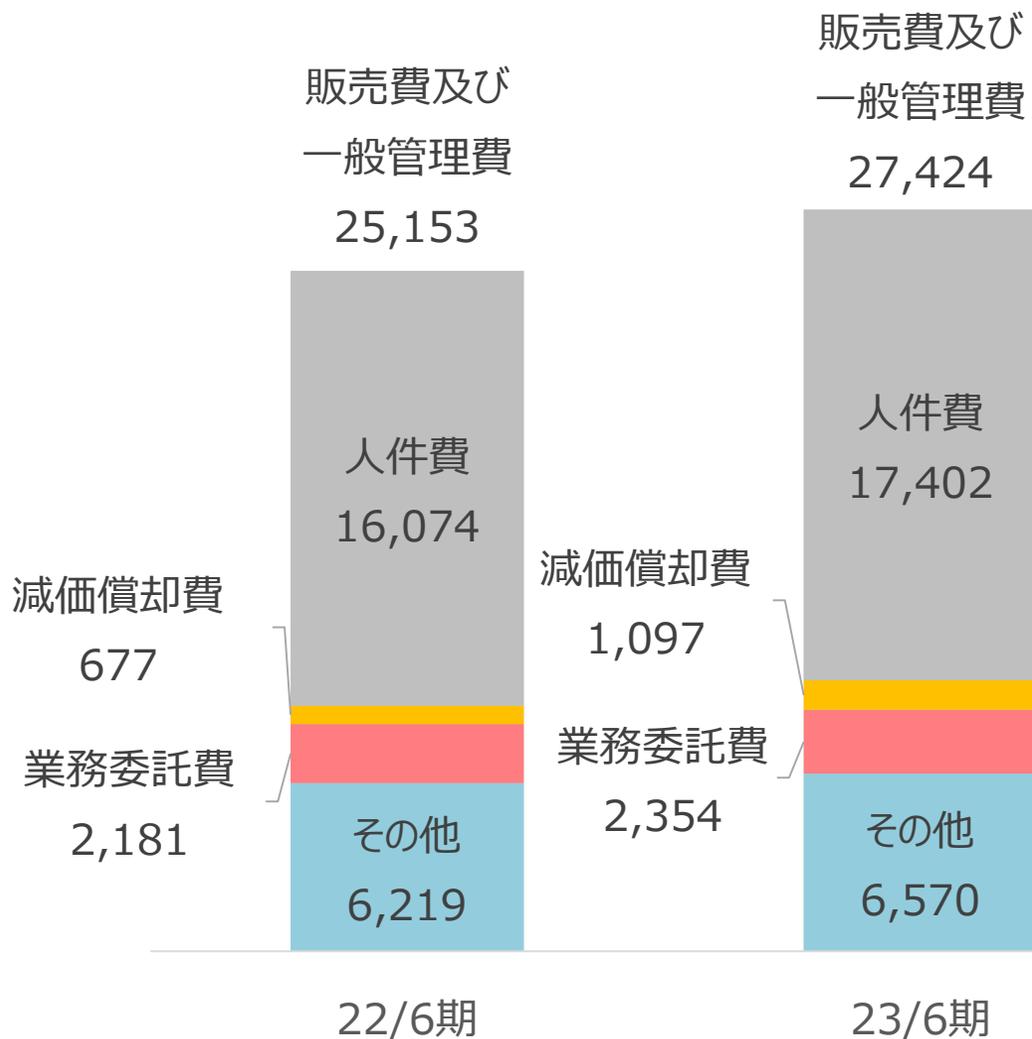
		1Q	2Q	3Q	通期
2022年6月期 売上高	訂正前	53,183	109,721	169,933	221,694
	訂正後	54,551	112,291	173,723	226,606
	影響額	1,368	2,569	3,789	4,912
2023年6月期 売上高	訂正前	57,520	115,807	177,528	—
	訂正後	58,763	118,304	181,388	—
	影響額	1,242	2,497	3,860	—

※収益認識会計基準適用後の数値です。

※営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益に変更はございません。

販売費及び一般管理費の状況

販売費及び一般管理費 **274億24百万円** (前期比 **9.0%増**)
 内) 人件費 **174億 2百万円** (前期比 **8.3%増**)



人件費

- ✓ 事業規模拡大に伴う人材採用
- ✓ 前期に獲得したSPD運営に伴う人員増加

減価償却費

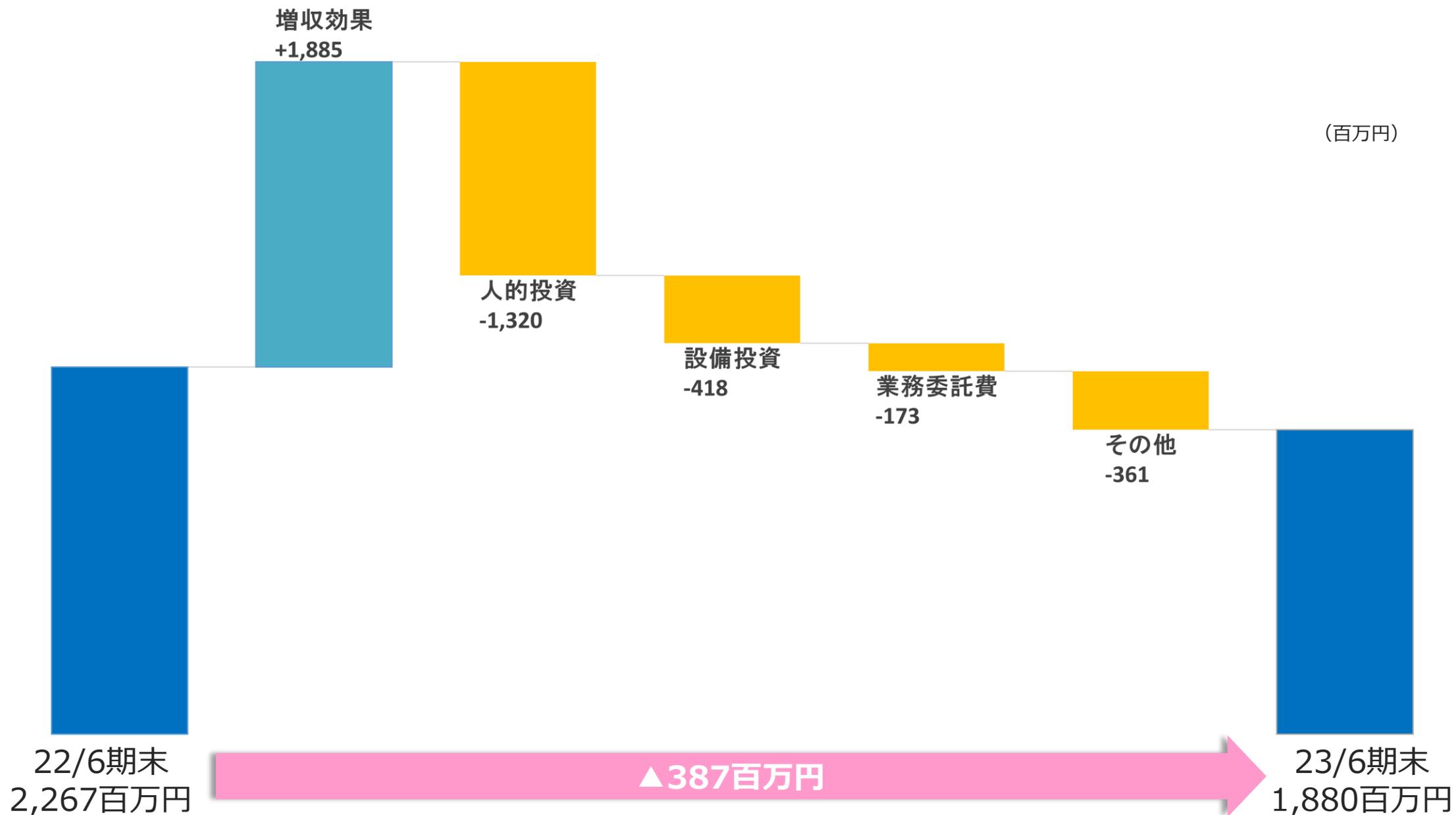
- ✓ 2022年5月より稼働している新物流センターに関する減価償却費が計画通り発生

業務委託費

- ✓ 事業規模拡大に伴う物流やSPDの外部委託費用等の増加

その他

- ✓ 営業拠点移設・新設に伴う賃借料の増加
- ✓ セキュリティ強化に伴うシステム関連コストの増加



(百万円、%)

項目	19/6期	20/6期	21/6期	22/6期	23/6期	構成比	前年同期比
北海道	—	—	5,677	5,431	8,052	2.9	148.3 ↑
秋田県	3,535	3,986	4,028	4,435	4,741	1.7	106.9 ↑
群馬県	25,292	27,225	27,936	29,699	30,916	11.1	104.1 ↑
茨城県	9,988	10,060	11,043	12,497	14,208	5.1	113.7 ↑
埼玉県	26,445	29,117	33,021	32,230	34,339	12.3	106.5 ↑
千葉県	3,665	5,001	5,859	7,351	10,491	3.8	142.7 ↑
東京都	24,577	28,059	36,960	37,525	41,139	14.8	109.6 ↑
神奈川県	19,857	24,055	29,994	33,225	30,106	10.8	90.6 ↓
静岡県	41,224	42,037	47,051	47,385	48,677	17.5	102.7 ↑
愛知県	14,966	13,554	14,399	14,836	16,819	6.0	113.4 ↑
福井県	13,752	13,989	17,232	18,190	18,945	6.8	104.1 ↑
京都府	—	—	—	2,401	3,209	1.2	133.6 ↑
その他	14,386	13,300	13,581	14,364	16,651	6.0	115.9 ↑

※売上高は当社グループ拠点所在地別の都道府県です。

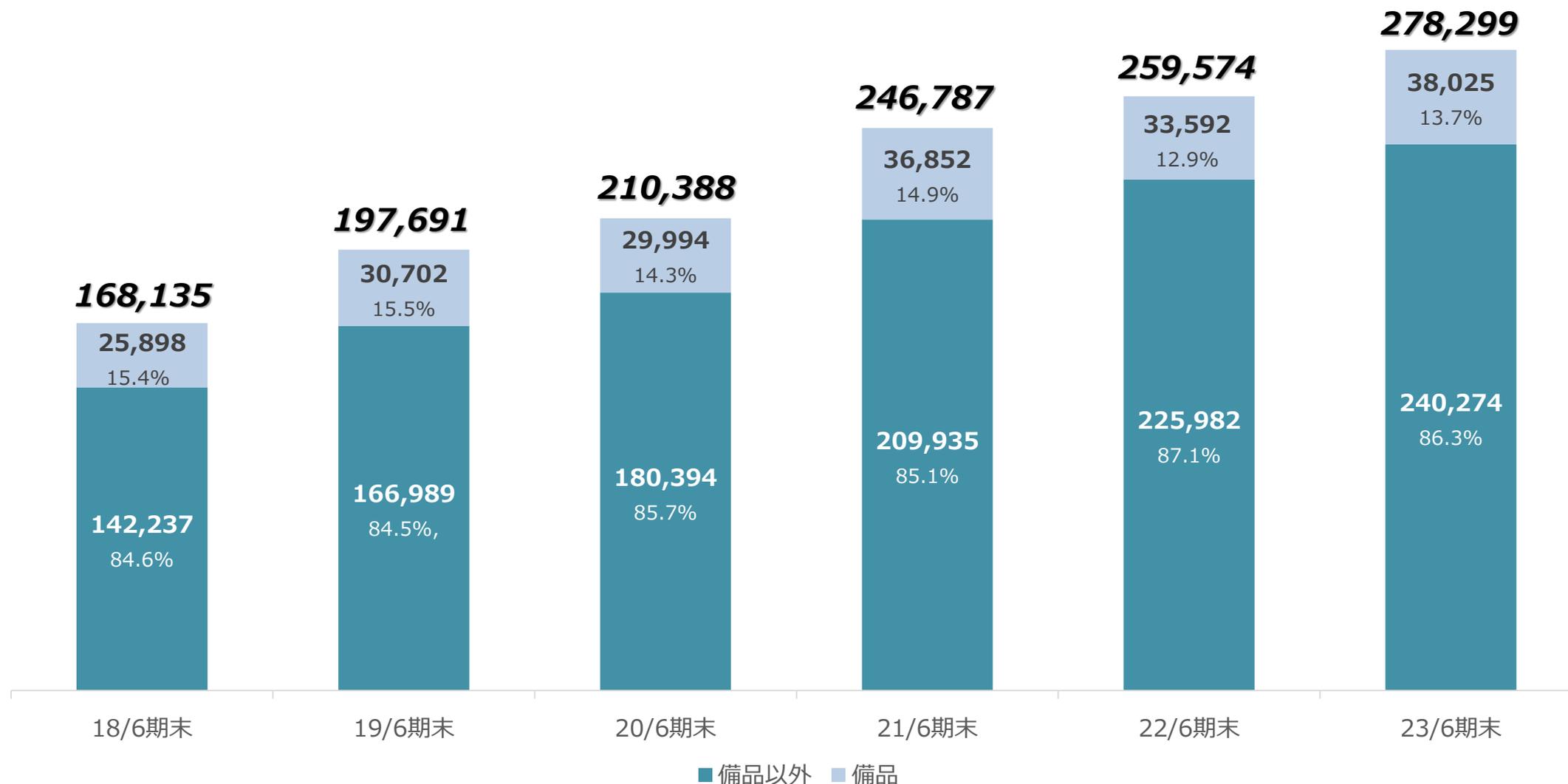
※19/6期にミtas及びディーセンス（現アルバース）（2018年7月1日～）、20/6期にアクティブメディカル（現アルバース）（2020年3月31日～）

がグループ入り。20/6期よりメディアソリューションを連結組み入れ。22/6期に佐野器械（2021年10月1日～）がグループ入り。

23/6期にノア（2022年10月4日～）がグループ入り。

※数値については、「収益認識に関する会計基準」適用以前の基準にて算出しております。

（単位：百万円）

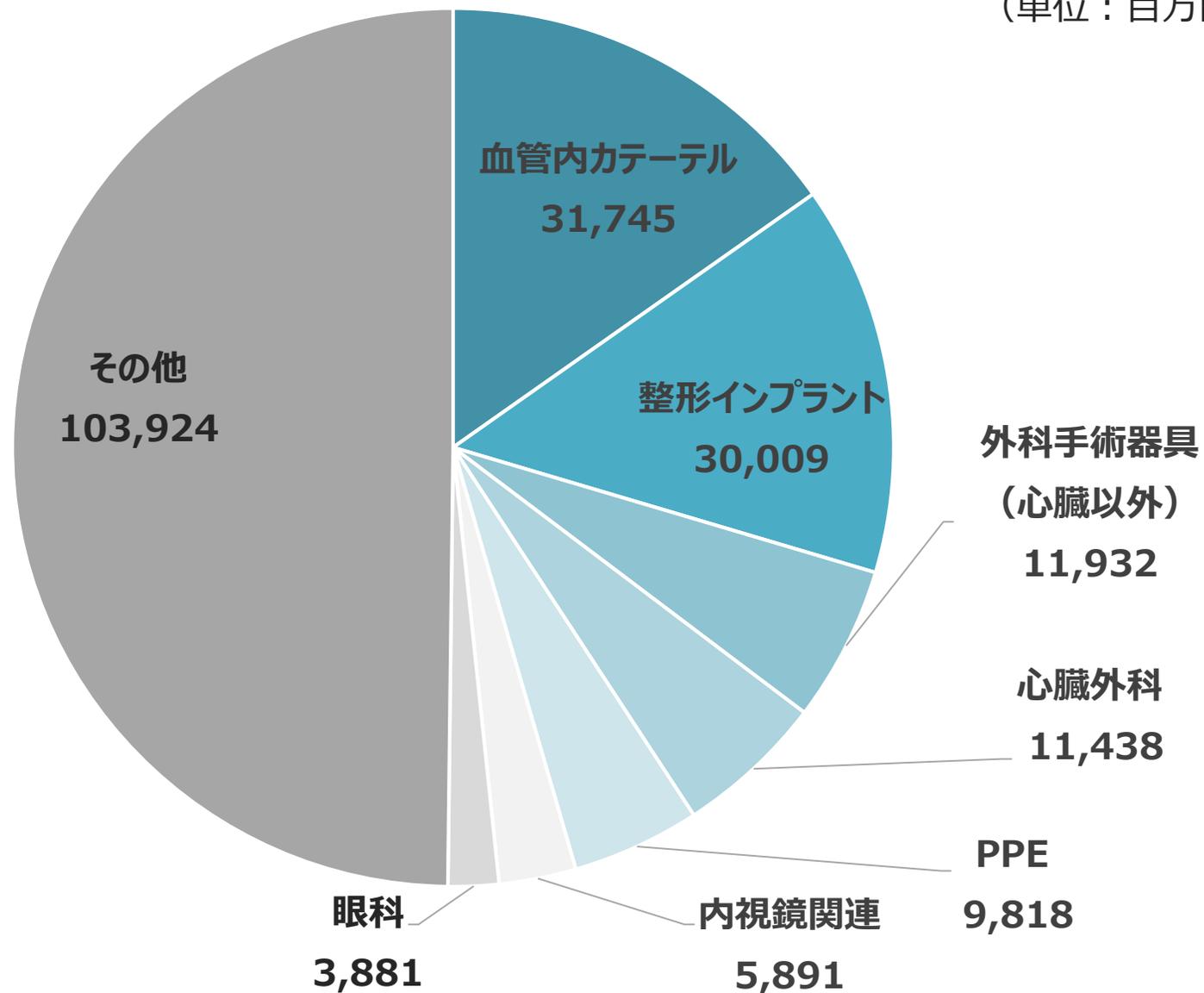


※数値については、「収益認識に関する会計基準」適用以前の基準にて算出しております。

※備品以外の構成：消耗品、修理費、その他

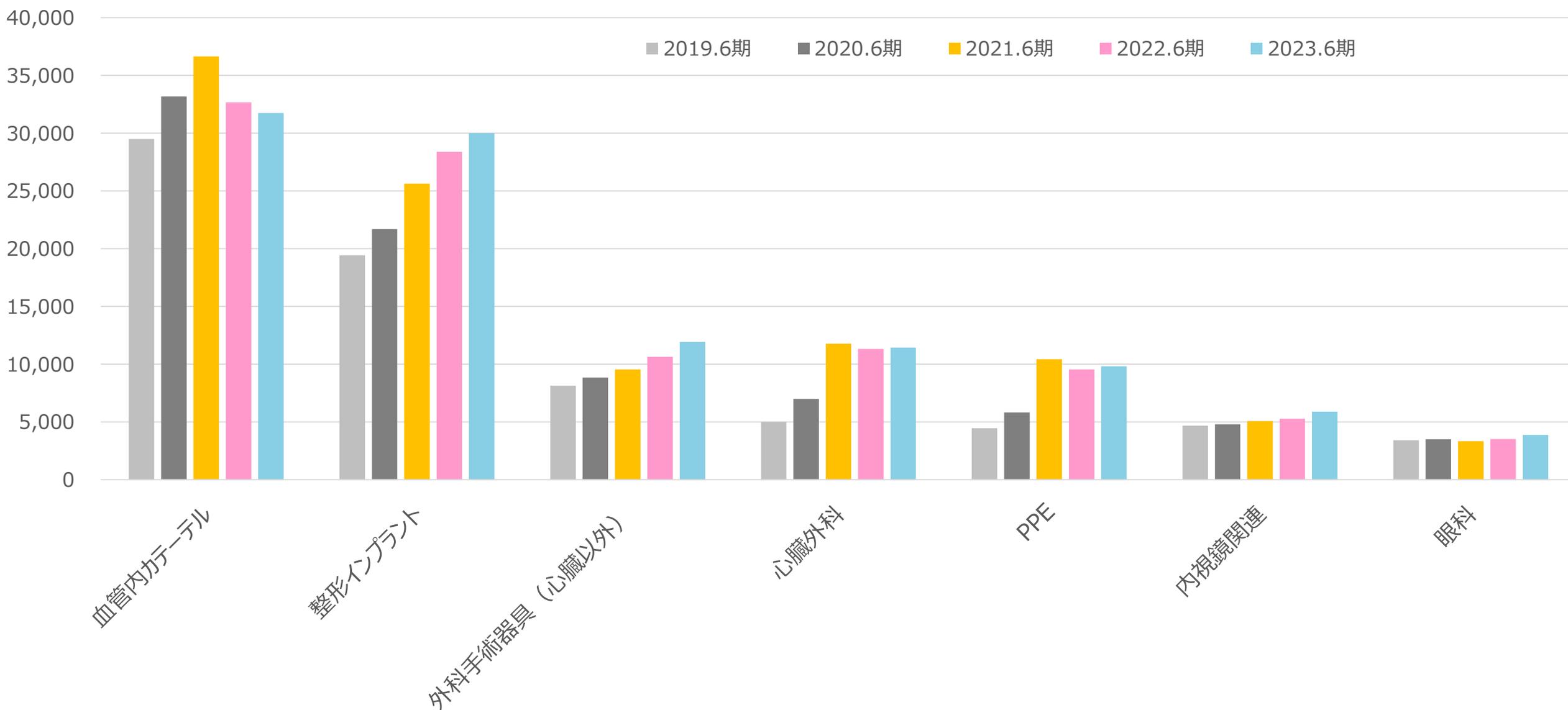
(単位：百万円)

- 血管内カテーテル
- 整形インプラント
- 外科手術器具（心臓以外）
- 心臓外科
- PPE
- 内視鏡関連
- 眼科
- その他
(注射器、包帯、ガーゼ、体温計、輸液など)



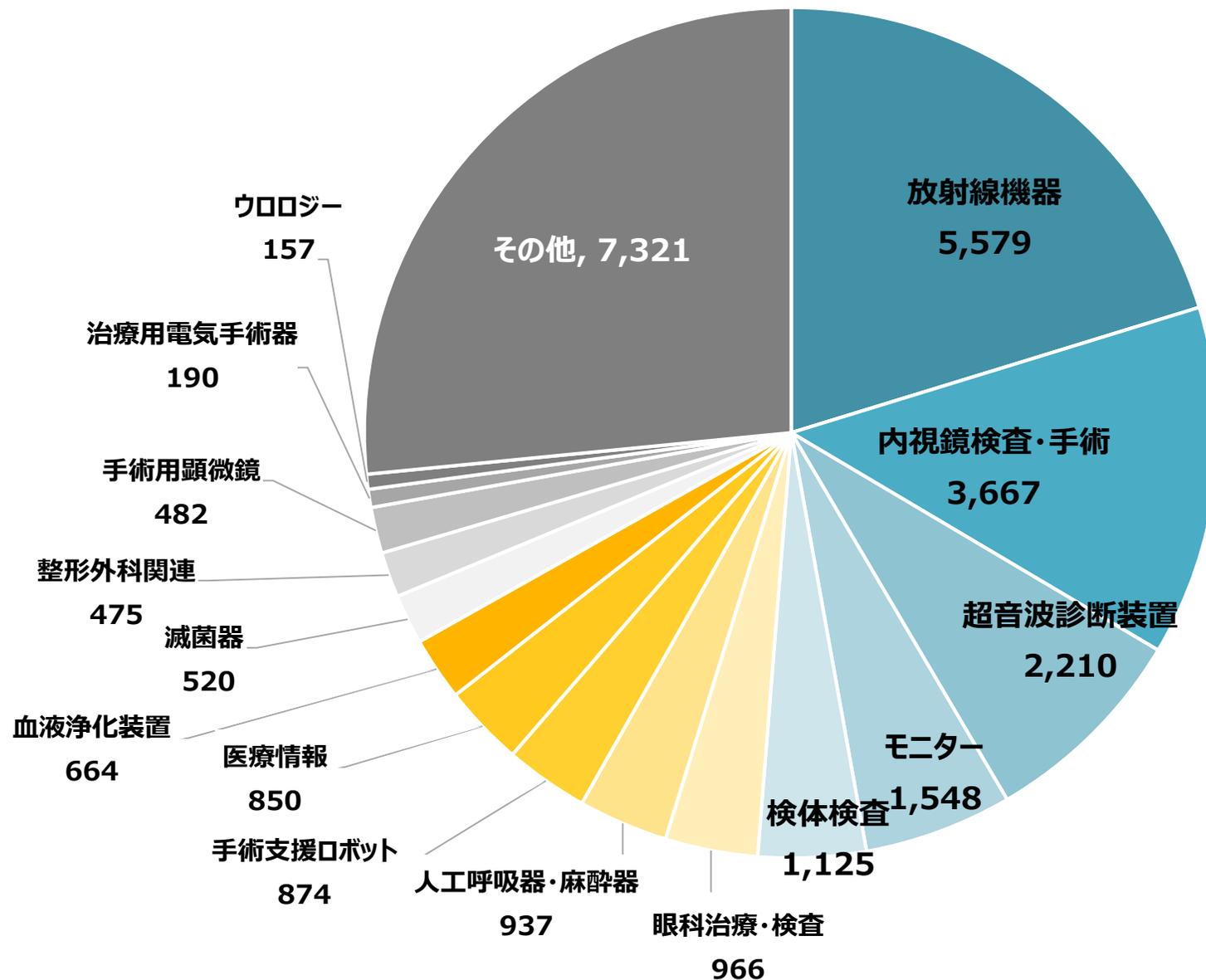
消耗品 分野別売上高推移（2019年6月期～2023年6月期）

(百万円)



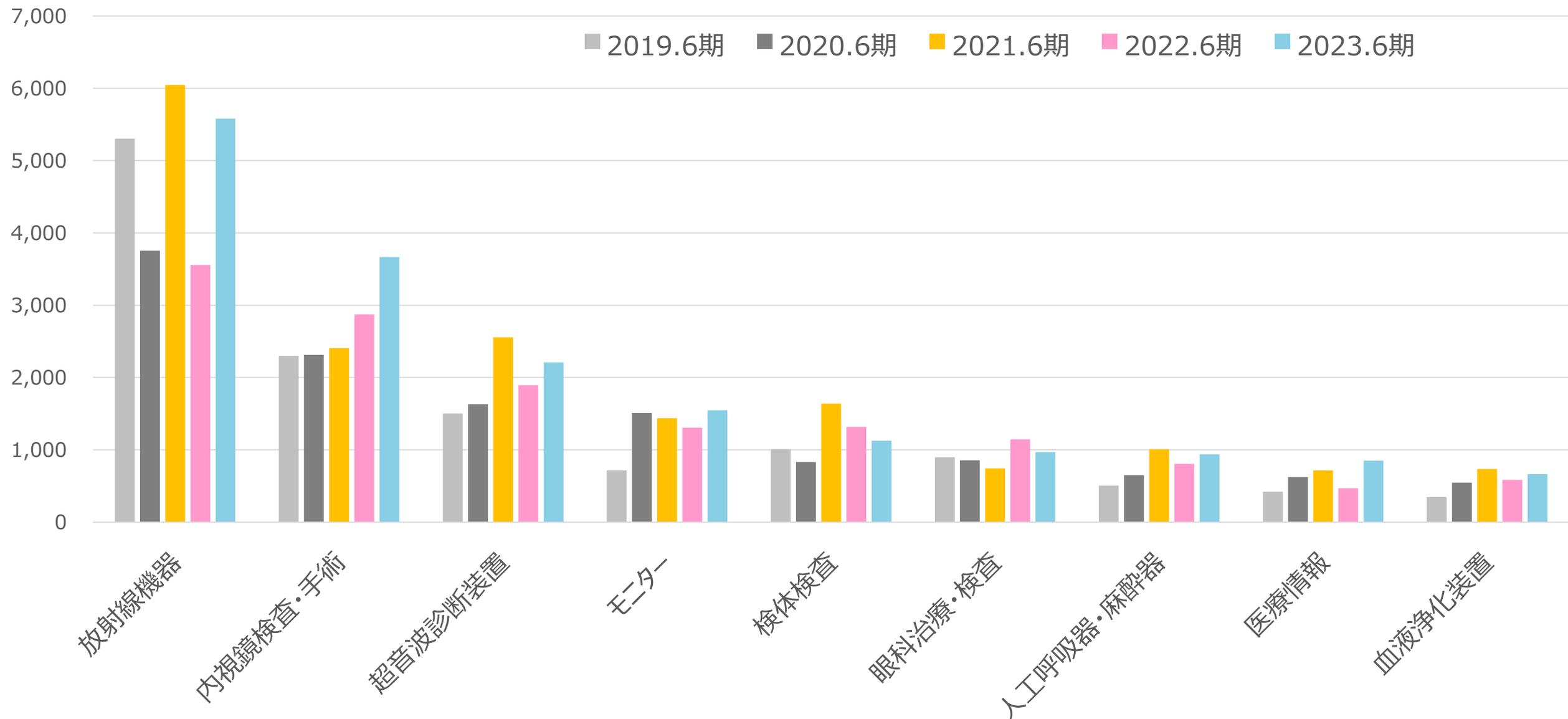
(単位：百万円)

- 放射線機器
- 内視鏡検査・手術
- 超音波診断装置
- モニター
- 検体検査
- 眼科治療・検査
- 人工呼吸器・麻酔器
- 手術支援ロボット
- 医療情報
- 血液浄化装置
- 滅菌器
- 整形外科関連
- 手術用顕微鏡
- 治療用電気手術器
- ウロロジー
- その他

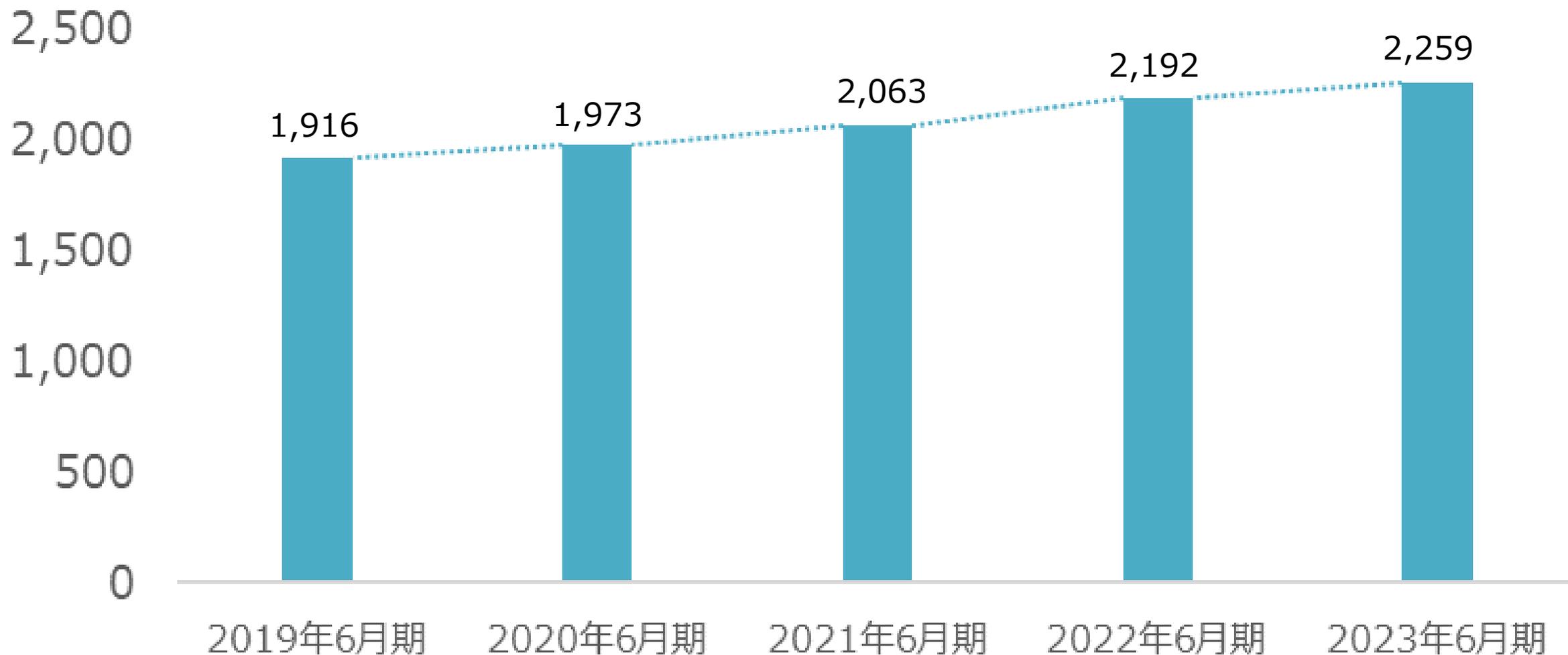


備品 分野別売上高推移（2019年6月期～2023年6月期）

(百万円)



(百万円)



(百万円、%)

項目	23/6期	24/6期	
	通期 (実績)	通期 (計画)	前期比
売上高	239,054	248,000	103.7
営業利益	1,880	1,000	53.2
経常利益	2,423	1,600	66.0
当期純利益	1,498	1,000	66.7
売上高営業利益率	0.8	0.4	-

2024年6月期 業績見通し

● 売上高、売上総利益

- ✓ ソリューションの展開強化、SPDの新規受託による売上拡大
- ✓ 病院における症例数の回復、整形外科を中心に新規症例の獲得
- ✓ 内視鏡関連製品の販売強化
- ✓ ウクライナ情勢や円安の影響により売上原価は増加を見込むが、営業強化による収益改善で補填することで売上総利益率は前期並みを維持
- ✓ コロナ感染対策製品及びPCR検査試薬の縮小

● 営業利益、経常利益及び親会社に帰属する当期純利益

- ✓ 主要子会社における事業規模拡大に伴う人材定期採用の継続やベースアップ
- ✓ 営業拠点の移転・開設の見込み
- ✓ 倉庫管理システム導入に伴うコスト増加

配当性向

長期に亘る経営基盤の強化と事業拡大に必要な内部留保を確立しつつ、成長に応じた成果の配分を実施することを基本方針としております。

これまで配当性向を20～30%を基本方針とし決定してまいりましたが、株主の皆様に対する公平な利益還元の観点から、2023年6月期より**30%以上**を目標としております。

	18/6期	19/6期	20/6期	21/6期	22/6期	23/6期	24/6期 (予想)
1株あたりの配当金 (期初予想)	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0
1株あたりの配当金	14.0	14.0	14.0	21.0	19.0	22.0	14.0
連結配当性向(%)	36.7	—	32.1	22.1	22.3	32.2	30.7

《23/6期配当について》

上記の方針及び業績の修正等の状況を勘案し、期初予想から8円増配し、1株当たり22円へ修正させていただきます。

《第一部》

1. 本日本お伝えしたいこと
2. 市場環境とメディアスの戦略
3. メディアスホールディングスの概況
4. 中期経営計画とビジョン

《第二部》

1. 2023年6月期 連結決算

《参考資料》

創業時から変わらぬ想い

地域医療への貢献

事業内容： 医療機器の販売及びメンテナンス事業
介護福祉機器の販売及びレンタル事業

設立

2009年7月

(2010年現社名へ商号変更)

資本金

13.4億円

(2023年6月末現在)

従業員

2,288名

(グループ計 2023年6月末現在)

決算期

6月末

代表者

代表取締役

池谷 保彦

所在地

東京都千代田区有楽町
一丁目2番2号
東宝日比谷ビル



国内有数の医療環境サプライヤーとしての
揺るぎない覚悟と実績に基づく信頼
それが私たちの強みです

医療機器販売事業

- 株式会社アクティブメディカル
- 株式会社オーソエッジジャパン
- ノアインターナショナル株式会社
- 協和医科器械株式会社
- 株式会社秋田医科器械店
- 株式会社ミタス
- 株式会社栗原医療器械店
- 佐野器械株式会社
- 株式会社アルバース

グループ会社数

12

医療機器の修理・保守

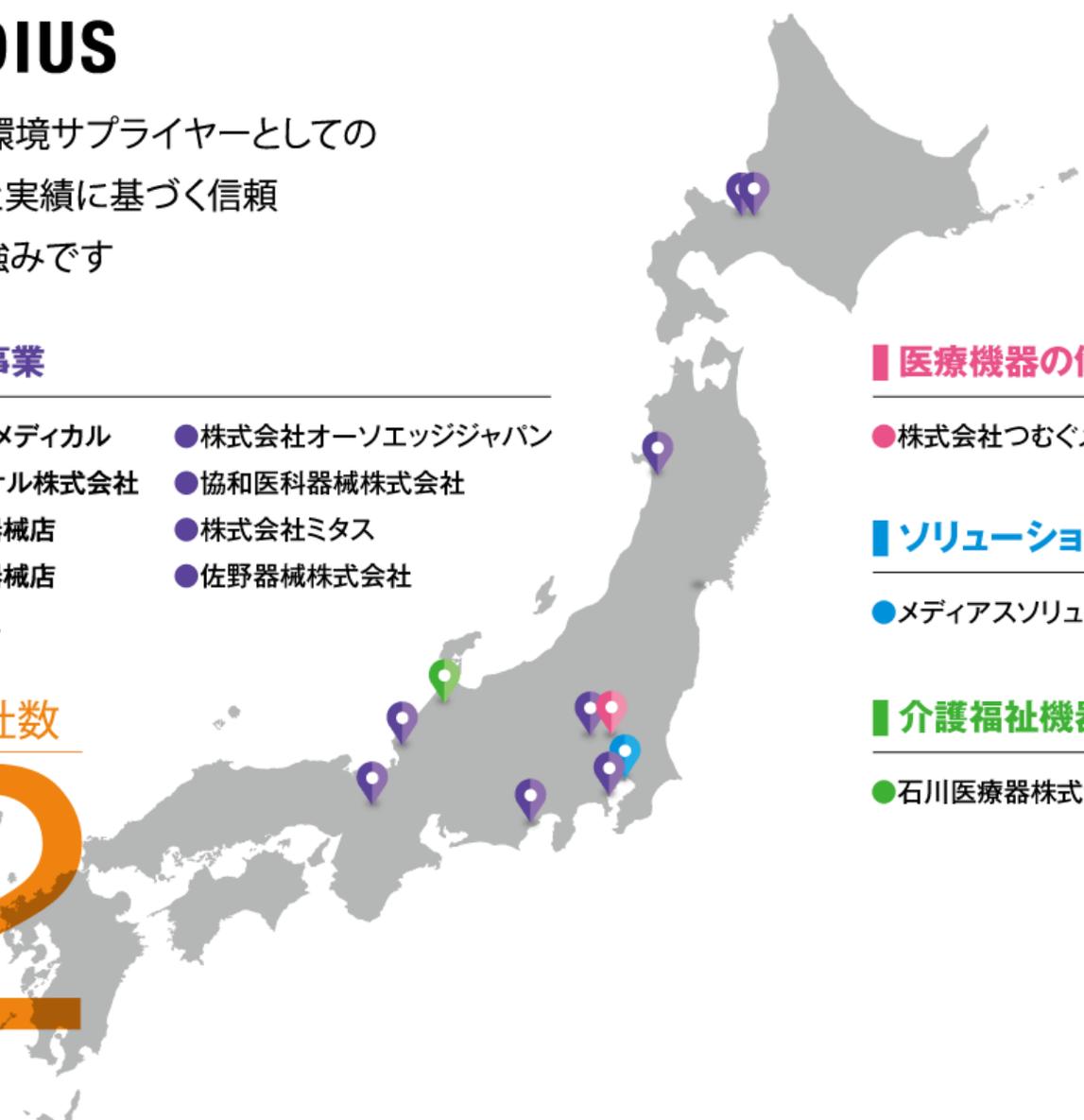
- 株式会社つむぐメディカル

ソリューションサービス事業

- メディアスソリューション株式会社

介護福祉機器専門販売事業

- 石川医療器株式会社





都道府県別拠点数

北海道	10
秋田県	4
群馬県	9
栃木県	1
茨城県	3
千葉県	4
埼玉県	5
東京都	13
神奈川県	4
山梨県	1
長野県	1
新潟県	2
静岡県	12
愛知県	6
富山県	1
石川県	3
福井県	5
大阪府	1
京都府	1

2023年6月現在

一般個人へのレンタル

介護福祉機器・用具のレンタル、販売

- 介護ベッド／車椅子／シルバーカー
杖／介護衣類／リハビリシューズ
衛生材料・・・



病院・介護施設・一般個人への販売

介護福祉機器・用具の販売

- 介護福祉機器・用具
介護ベッド／車椅子・・・
- ストマ用品



消防署への販売

救命救急機器の販売

- 救急車搭載医療機器
人工呼吸器／除細動器／心電計
生体情報モニター／輸液ポンプ
感染防止衣等
- AED
- ストレッチャー・担架

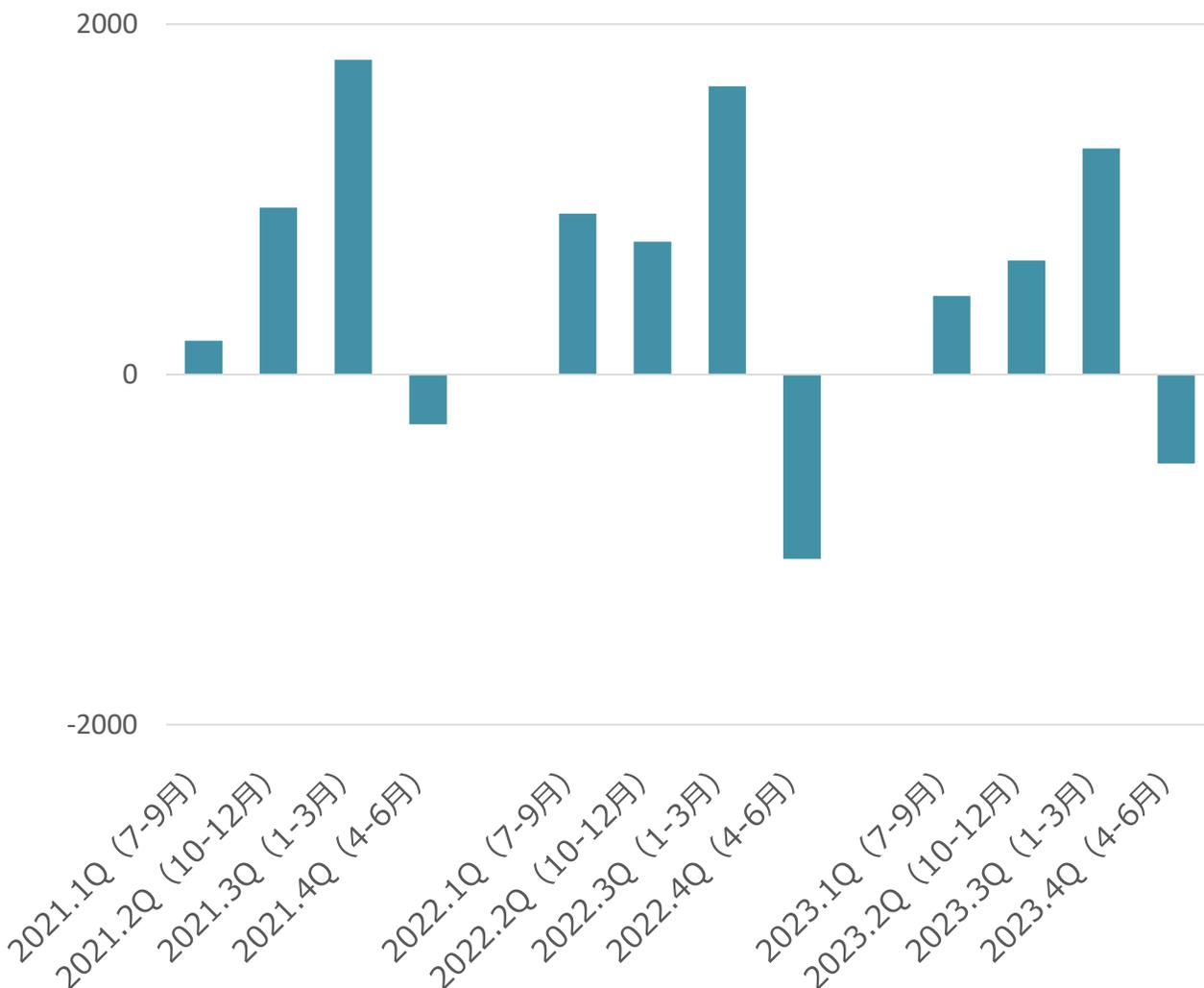


旭化成メディカル株式会社
アトムメディカル株式会社
アボットメディカルジャパン合同会社
アルケア株式会社
アルフレッサファーマ株式会社
インテュイティブサージカル合同会社
エア・ウォーター・メディカル株式会社
ASP Japan合同会社
エドワーズライフサイエンス株式会社
O&M Halyard Japan合同会社
オオサキメディカル株式会社
オカモト株式会社
オリンパスマーケティング株式会社
オリックスレンテック株式会社
カーディナルヘルス株式会社
花王プロフェッショナル・サービス株式会社
株式会社カネカメディックス
川本産業株式会社
キヤノンメディカルシステムズ株式会社
京セラ株式会社
コヴィディエンジャパン株式会社
コニカミノルタジャパン株式会社

東京サライ株式会社
参天製薬株式会社
GEヘルスケア・ジャパン株式会社
シーメンスヘルスケア株式会社
株式会社ジェイ・エム・エス
シスメックス株式会社
ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
ジンマー・バイオメット合同会社
住友ベークライト株式会社
泉工医科工業株式会社
センチュリーメディカル株式会社
タカラベルモント株式会社
帝人ナカシマメディカル株式会社
テルモ株式会社
東洋紡株式会社
東レ・メディカル株式会社
株式会社トップ
ニチバンメディカル株式会社
株式会社ニデック
ニプロ株式会社
日本アルコン株式会社
日本ゴア合同会社

日本光電工業株式会社
日本ストライカー株式会社
日本メディカルネクスト株式会社
日本メドトロニック株式会社
日本ライフライン株式会社
白十字株式会社
バクスター株式会社
パラマウントベッド株式会社
株式会社 日立製作所
株式会社フィリップス・ジャパン
富士フイルムメディカル株式会社
株式会社ホギメディカル
ボストン・サイエンティフィックジャパン株式会社
HOYA株式会社
株式会社メディコン
メドライン・ジャパン合同会社
ユニ・チャーム株式会社
ライカマイクロシステムズ株式会社
LifeScan Japan株式会社
楽天メディカル株式会社
ラジオメーター株式会社
株式会社リブドゥコーポレーション

《四半期ごと営業利益推移》



季節性の要因

《3Q：1-3月》

- ・医療機関の年度末にあたるため備品の購入が集中し、売上高を押し上げる。

《4Q：4-6月》

- ・3Qの反動減で売上高が低下する。
- ・増員により人件費が増加する。
- ・償還価格の改定に伴う販売価格の下落。
- ・減損処理が発生する場合がある。

《4Q～1Q：4-9月》

- ・温かい時期は、比較的患者が減る傾向がある。

本資料は当社をご理解して頂くために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たり、正確性を期するために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。